

第9期

2023.3～2024.2

2023年度

環境経営レポート



株式会社 武田組

発行 2024年5月10日

1. 組織の概要及び対象範囲

1. 事業所及び代表者名

株式会社武田組 代表取締役 武田敏光

2. 所在地

本社 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代435-5

屋代倉庫 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代720

倉科倉庫 〒387-0004 長野県千曲市大字倉科1621-3

3. 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 土木部課長 眞弓田知浩

環境管理事務局 経理部 池田香織

連絡先 TEL : 026-272-0754 FAX : 026-273-3869

4. 事業内容

総合建設業 建築工事業、左官工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、大工工事業、屋根工事業、
内装仕上工事業、土木工事業、石工事業、舗装工事業、塗装工事業、解体工事業、
とび・土工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

建設業の許可 建築 一般建設業 長野県知事 許可（般一29）第3102号

土木 特定建設業 長野県知事 許可（特一29）第3102号

産業廃棄物 収集運搬業 長野県知事 許可 2006109077（自社施工時の収集運搬のみ）

5. 事業の規模

売上高 983,740千円（2023年度）

資本金 3,000万円

事務所延べ床面積 196.7㎡

従業員数 20名

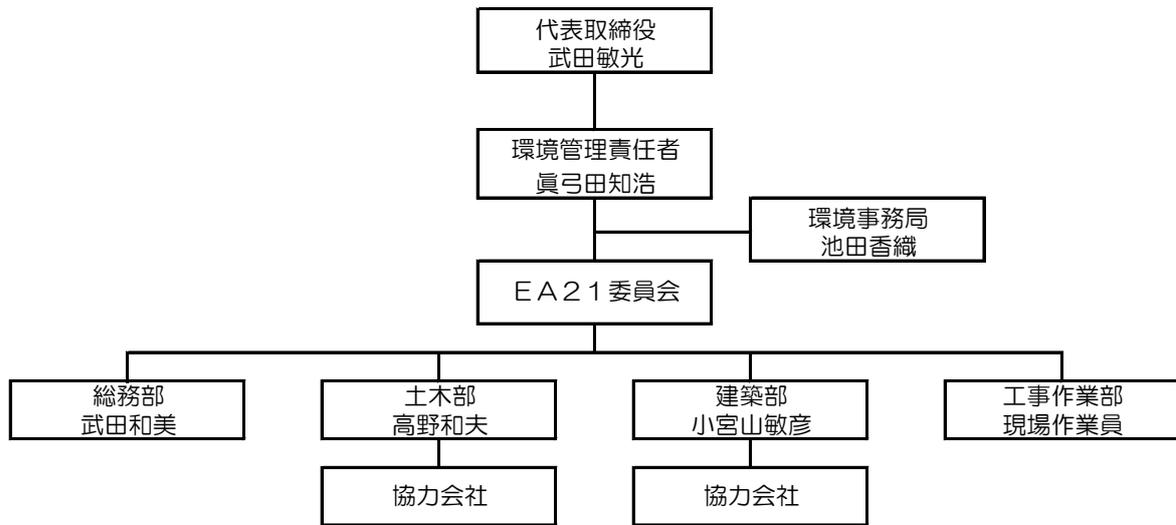
エコアクション21の対象範囲

対象範囲 （認証・登録範囲） 全組織及び全事業を対象とする

決算（事業期間／年）

3月～2月

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
E A 2 1 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境経営方針

環境理念

株式会社 武田組は、建設事業を通じて、次世代に『遺産（資産）』を残すよう努めます。
「人」と「物」と「環境」の調和を大切に、地球にやさしく、全ての生命体にとって住みやすい環境づくりを目指し、環境負荷の低減に継続的に努めます。

環境経営方針

後世に自然豊かな、よりよい環境と次世代を担うにふさわしい人や技術を残すことを念頭に、環境に配慮した施工と人づくりに徹し、自主的に環境保全への取り組みを推進します。

環境保全への行動指針

1. 施工と人づくりに徹し、自主的に環境保全への取り組みを推進します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制につとめ、建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. グリーン購入に努めます。
6. 省エネや環境に配慮した機械の導入及び、設計・施工に努めます。
7. 全社員の環境意識の向上と全社員による取り組みを図ります。
また、協力会社など関係者にも協力を求めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
9. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

更新日 2023年3月1日
株式会社 武田組
代表取締役 武田敏光

3. 環境経営目標(中長期)

基準、目標 項目	単位	基準年度 2021年度実績 (2021.3~ 2022.2)	目標 2022年度 (2022.3~ 2023.2)	目標 2023年度 (2023.3~ 2024.2)	目標 2024年度 (2024.3~ 2025.2)
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	168,510	165,140 2%削減	165,140 2%削減	165,140 2%削減
① 購入電力	kWh	28,802	1%削減	1%削減	1%削減
② ガス	kg	33.5	1%削減	1%削減	1%削減
③ ガソリン	L	16,434	2%削減	2%削減	2%削減
④ 軽油	L	46,247	2%削減	2%削減	2%削減
⑤ 灯油	L	1,203	2%削減	2%削減	2%削減
一般廃棄物排出量の削減	t	0.89	1%削減	1%削減	1%削減
産業廃棄物排出量の削減	t	77.3	1%削減	1%削減	1%削減
リサイクル率 99%以上とする	%	99.0	99.0	99.0	99.0
排水量の削減	m3	52.0	1%削減	1%削減	1%削減
化学物質適正管理	※使用する場合は出庫管理をする(実績評価) 使用量の管理を適正に行い、化学物質等安全シートを取る。				
グリーン購入【事務所】	※3ヵ月分の購入金額とする(実績評価)				
グリーン商品を購入金額の割合とする	%	95.0	97.0	97.0	97.0
環境配慮型機械の使用【現場】 使用機械の割合	%	100.0%	100%	100%	100%
自らが施工・販売・提供する製品 及びサービス	※創意・工夫を1工事で項目ごと規定数提出する				
環境配慮(公害防止・廃棄物適正 処理・自然環境保全)	※工期の短縮 計画工程の90%で施工する(実績評価) ※環境配慮型の機械の導入				
環境保全活動の推進	※地域環境活動へ年に3回以上参加する(実績評価)				

※2016年度の中部電力二酸化炭素実排出係数：0.485kg-CO2/kWh

4. 環境経営計画

目 標				当年度活動計画
Co2排出量の削減				①～⑤
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	168,510 kg-CO2	
	2%削減	☆目標値＝	165,140 kg-CO2	
①電力使用量の削減				昼食時・不使用時消灯 OA機器の電源OFF AC（夏季28℃・冬季20℃）
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	28,802 kWh	
	1%削減	☆目標値＝	28,514 kWh	
②ガス消費量の削減				不要な使用の禁止 番号管理での使用者の徹底
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	33.5 kg	
	1%削減	☆目標値＝	33.2 kg	
③ガソリン消費量の削減				低炭素型建設機器の使用と購入 エコカー車の使用と購入 アイドリングストップ 急発進・急加速の禁止
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	16,434 L	
	2%削減	☆目標値＝	16,105 L	
④軽油消費量の削減				空ぶかしの禁止 定期点検の実施 過積載の防止 現場への乗合の推進
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	46,247 L	
	2%削減	☆目標値＝	45,322 L	
⑤灯油消費量の削減				適切な場所・時間の限定 不在時はOFF
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	1,203 L	
	2%削減	☆目標値＝	1,179 L	
一般廃棄物排出量の削減				分別の徹底 資源回収ゴミの把握 リサイクルの推進 印刷物の削減（両面コピー等） 3Rの推進（発生抑制・再使用・再利用）
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	0.89 t	
	1%削減	☆目標値＝	0.88 t	
産業廃棄物排出量の削減				分別の徹底 残材資材の抑制（発注者と協議） 資機材置場・倉庫の整理・整頓 在庫の確認 3Rの推進（発生抑制・再使用・再利用） 作業ミスによる廃棄物量の削減 分別ボックスの配置
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	77.3 t	
	1%削減	☆目標値＝	76.5 t	
排水量の削減				節水の励行
☆基準値	2021年度	☆基準値＝	52.0 m ³	
	1%削減	☆目標値＝	51.5 m ³	
化学物質の適正管理				使用量と管理の適正化 化学物質等安全シートをとる
☆使用時に適用する（実績評価）				
グリーン購入の推進				【事務所】 グリーン製品の購入金額の把握 【現場】 使用機械の把握 超省エネ機械リースの導入100%
【事務所】 ☆購入金額の割合で97%以上とする（実績評価）				
【現場】 ☆環境配慮型機械を使用割合で100%とする				
自らが施工・販売・提供する製品及びサービス				創意・工夫事項の提案
☆創意・工夫を1工事で項目ごと規定数提出する				
公害防止・廃棄物適正処理・自然環境保全				工期短縮 計画工程の90%で施工 マニフェストによる適正管理
環境保全活動の推進				千曲市植樹祭への参加 2回/年 地区の堰払い清掃への参加 1回/年
☆地域環境活動へ3回以上/年参加する（実績評価）				自社での近隣道路清掃 2回/年

5. 2023年度環境経営目標の実績の評価と環境活動の取組結果、次年度の取組内容

目 標			当年度活動計画	評価	達成状況と評価及び次年度の取組内容
Co2排出量の削減					
☆目標値＝	165,140	kg-CO2	①～⑤	△	【達成状況】 現場での重機使用に伴う軽油の使用量が多かった。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 工事の受注状況・作業内容によって大きく左右されるが、引き続き削減及び排出しないという意識をもって取り組む。
☆実績値＝	167,327	kg-CO2			
差額	2,187	kg-CO2			
☆削減率＝	▲ 1.3	%			
①電力使用量の削減					
☆目標値＝	28,514	kWh	昼食時・不使用時消灯		【達成状況】 現場での動力電気の使用がなかったため大幅に削減できた。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 工事の受注量や作業内容により大きく左右されるが、引き続き削減という意識をもって取り組む。
☆実績値＝	22,170	kWh	OA機器の電源OFF		
差額	6,344	kWh	ACの温度設定		
☆削減率＝	22.2	%			
②ガス使用量の削減					
☆目標値＝	33.2	kg	事務所での適切な使用	◎	【達成状況】 事務所の使用量は毎年ほぼ変わりがないが、現場の凍結防止のためのガスバーナー使用で現場でのガス使用量が増えた。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 現場で使用するガスボンベの管理が不十分なので、管理リストを作成して紛失等のないように留意する。
☆実績値＝	37.5	kg	現場での不要な使用の禁止	○	
差額	▲ 4.3	kg	現場プロパンガスの番号管理	△	
☆削減率＝	▲ 13.0	%			
③ガソリン消費量の削減					
			低炭素型建設機器の使用と購入	◎	【達成状況】 複数人で同じ現場へ行く場合は乗り合いで行くことを徹底でき、ガソリン消費量を削減できた。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 「もっと削減できる方法はないか」という意識を社員ひとりひとりが持ち、乗り合いや意識を継続させる。
			エコカー車の使用と購入	○	
☆目標値＝	16,105	L	アイドリングストップ	◎	
☆実績値＝	15,452	L	急発進・急加速の禁止	◎	
差額	653	L	空ぶかしの禁止	◎	
☆削減率＝	4.1	%	定期点検の実施	○	
			現場への乗合の推進	◎	
④軽油消費量の削減					
☆目標値＝	45,322	L	過積載の防止	○	【達成状況】 現場での重機使用に伴う軽油の使用量が多かった。が、使用機械の選定・大きさ・使用台数など無駄のないように取り組んでいる。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
☆実績値＝	48,095	L	省エネ建設機械の導入	◎	
差額	▲ 2,773	L			
☆削減率＝	▲ 6.1	%			
⑤灯油消費量の削減					
☆目標値＝	1,179	L	適切な場所・時間の限定	○	【達成状況】 大幅な削減ができた。 工事受注数・現場事務所の数に応じて使用量が増加するが、短期間の工事や本社近隣では現場事務所を設けずに対応した。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
☆実績値＝	1,026	L	不在時はOFF	○	
差額	153	L			
☆削減率＝	13.0	%			

目 標			当年度活動計画	評価	達成状況と評価及び 次年度の取組内容
一般廃棄物排出量の削減			分別の徹底	◎	<p>【達成状況】 総務を中心とし、分別・資源ゴミのリサイクルの徹底をしているため、目標内の実績となった。</p> <p>【改善案】 特になし。</p> <p>【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。</p>
☆目標値＝	0.880	t	資源回収ゴミの把握	◎	
☆実績値＝	0.777	t	リサイクルの推進	◎	
差額	0.103	t	印刷物の削減（両面コピー等）	○	
☆削減率＝	11.7	%	3Rの推進（発生抑制・再使用・再利用）	◎	
産業廃棄物排出量の削減			分別の徹底	◎	<p>【達成状況】 道路舗装・道路修繕工事が重なったため、アスファルトの廃棄量が多くなった。</p> <p>【改善案】 特になし。</p> <p>【次年度の取組】 工事種別により廃棄量が大きく変わるが、残材が残らないよう徹底し、3Rの推進を図るよう、今後も継続して取り組む。</p>
☆目標値＝	76.5	t	残材資材の抑制（発注者と協議）	◎	
☆実績値＝	1,359.7	t	資機材置場・倉庫の整理・整頓	◎	
差額	▲ 1,283.2	t	在庫の確認	○	
☆削減率＝	▲ 1,677.4	%	3Rの推進（発生抑制・再使用・再利用）	◎	
			作業ミスによる廃棄物量の削減	○	
			分別ボックスの配置	◎	
排水量の削減					<p>【達成状況】 現場での解体工事に係る水道の使用量が多くなった。</p> <p>【改善案】 特になし。</p> <p>【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。</p>
☆目標値＝	51.5	m ³	節水の励行	○	
☆実績値＝	68.5	m ³			
差額	▲ 17.0	m ³			
☆削減率＝	▲ 33.0	%			
化学物質の適正管理					<p>化学物質を使用することはほとんどないが、使用する場合は化学物質安全シートを取得し、使用量・保管場所などについて徹底した管理に努める。</p>
☆使用時に適用（実績評価）			使用量と管理の適正化	—	
			化学物質等安全シートをとる	—	
グリーン購入			【事務所】		<p>【達成状況】 総務でグリーン製品の対象商品を確認し、購入に努めている。</p> <p>【改善案】 特になし。</p> <p>【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。</p>
☆目標値＝	97.0	%	グリーン製品の購入金額の把握	◎	
☆実績値＝	99.5	%	グリーン製品対象品の確認	◎	
差額	2.5	%	4ヵ月分の購入金額で評価	◎	
環境配慮型機械の使用			【現場】		<p>【達成状況】 すべての現場へ環境配慮型の機械を導入した。</p> <p>【改善案】 特になし。</p> <p>【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。</p>
☆目標値＝	100.0	%	使用機械の把握	◎	
☆実績値＝	100.0	%	超省エネ機械リースの導入と使用	◎	
差額	0.0	%			

目 標	当年度活動計画	評価	達成状況と評価及び次年度の取組内容
自らが施工・販売・提供する製品及びサービス			【達成状況】 創意工夫を熟考した結果、県・市発注の公共事業において工事成績のアップにつながった。
☆創意・工夫を1工事で12項目以上提出 (実績評価)	創意工夫7項目	◎	【改善案】 総合評価で高い受注ができるよう、取り組みを検討する。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
	社会性5項目	◎	
公害防止・廃棄物適正処理・自然環境保全			【達成状況】 公共・民間工事において計画工程の90%以内の工期で施工を完了させることができた。工程を短縮することで環境にも配慮でき、コスト削減にもつながった。
☆計画工程の90%で施工 (実績評価) ☆マニフェストによる適正管理 (実績評価)	工程管理計画の90%で実施	◎	【改善案】 来年度も実績評価となるが、引き続き実施する。 【次年度の取組】 引き続き継続して取り組む。
	マニフェストによる適正管理	◎	
	電子マニフェストの運用	○	
環境保全活動の推進	千曲市植樹祭への参加 2回/年	◎	【達成状況】 市や区などの地域の環境活動に積極的に取り組んだ。また、決められた活動とは別に道路清掃・側溝清掃を実施した。 【改善案】 特になし。 【次年度の取組】 引き続き継続し、地域のために活動する。
☆地域環境活動へ3回以上/年参加 (実績評価)	地区の堰払い清掃への参加 1回/年	◎	
	自社での近隣道路清掃 2回/年	◎	
	自社での近隣除雪作業 随時	◎	

活動実施状況



※節電・節水の喚起（継続）

- ・ 休み時間の消灯の実施。
- ・ エアコンの適正温度の実施。




※エコドライブ運動（継続）

- ・ 朝礼時、社員・現場作業員に注意喚起した



※現場及び会社裏での廃棄物分別の徹底

- ・ わかりやすいように大きく表示




※環境配慮型建設機械の使用

- ・ すべての現場に環境配慮型の機械を導入



6. 環境関連法規等の遵守状況及び外部からの苦情等の受付状況

1. 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

当社における環境関連法規は下記の通りです。環境管理責任者が中心となり、環境関連法規及び条例等の遵守を確認した結果、違反等はありませんでした。

環境関連法規等・内容（別記を含む）

NO	主な法規等	主な内容	チェック欄
1	オフロード法	基準適合表示等が付された特定特殊自動車の使用	遵守
2	騒音規制法	特定建設作業	遵守
3	振動規制法	特定建設作業	遵守
4	低騒音型・低振動型建設機械指定制度（国土交通省）	騒音・振動が相当程度軽減された建設機械の指定と使用	遵守
5	資源有効利用促進法	再生資源の利用に関する判断の基準 指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準	遵守
6	建設リサイクル法	対象建設工事について、分別解体等及び再資源化等の義務付け 分別解体等及び再資源化等の実施を確保するための必要事項	遵守
7	廃棄物処理法	廃棄物の排出抑制、適正処理（多量排出事業者） 別記1【収集運搬業関係】	遵守
8	道路交通法・道路法	道路使用許可、過積載の防止	遵守
9	廃棄物の適正な処理の確保に関する条例（長野県）	廃棄物の適正処理の確保 別記2	遵守
10	フロン排出抑制法	第一種特定製品の管理者の判断の基準 フロン類の放出の禁止 廃棄等（フロン類引渡の委託と記録の保存）	該当なし

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直しに必要な情報		変更の必要の有無・指示事項	
環境管理責任者の報告	環境管理責任者のコメント		
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>① 環境関連法規等の遵守状況</p> <p>② 是正及び予防処置の状況</p>	<p>【環境経営方針】</p> <p>・現場への乗り合い・アイドリングストップにより二酸化炭素排出量削減への取組みとして大きな効果が得られた。</p> <p>・車両破損等の軽微な事故の報告が漏れている場合があったので、事故が起きた時には日報で報告するよう周知徹底する。</p>	<p>【環境経営方針】 【環境経営目標】 【実施体制】</p> <p>なし</p> <p>どんなに小さな破損・事故であっても必ず会社に報告することを義務とする。</p>	
<p>【目標・環境活動計画の達成状況】</p>	<p>【目標・環境活動・実施体制】</p>		
① 電力の削減	◎	継続（会社：大きく削減ができた） （現場：作業内容で大きく影響）	特になし
② ガスの削減	△	継続（会社：徹底ができています） （現場：作業内容で大きく影響）	特になし
③ ガソリンの削減	◎	継続（会社：削減ができています） （現場：遠方への現場状況で大きく影響）	特になし
④ 軽油の削減	△	継続（現場：作業内容・重機使用量で大きく影響）	特になし
⑤ 灯油の削減	◎	継続（会社：削減ができています） （現場：工種で大きく影響）	特になし
⑥ 一般廃棄物の削減	◎	継続 より徹底した分別ができた 社員の意識向上がみられた	特になし
⑦ 産業廃棄物の削減	△	継続 舗装関連の工事により増加 工事内容により大きく増減	電子マニフェスト運用による効率化
⑧ 排水の削減	△	継続 解体現場での使用があり使用量が増えた	特になし
⑨ グリーン購入	◎	継続 グリーン商品の購入ができた	特になし
⑩ 環境配慮	◎	継続 環境配慮型重機の使用ができた	環境配慮型の資機材・重機の購入
⑪ 環境保全活動	◎	継続 協同の取組への参加ができた	長野県SDGs推進企業としての取組
<p>【周囲の変化状況】</p> <p>① 外部コミュニケーション</p> <p>② 環境関連法規制等の動向 他</p>	<p>【その他】</p> <p>軽油・ガソリン・灯油においては、作業期間・作業場所・作業内容で大きく変わるが、代理人を中心とし作業効率及び工期の短縮を含め最小限にとどめるよう努めた。また、本社及び現場での分別の徹底、製品の再利用等の3Rの取組みも出来た。</p>	※次頁参照	

・代表者からのコメント

2016年にEA21を取得し、社員の中でも自発的にエコ活動への取り組みがみられるようになりました。

地球温暖化・異常気象による災害は、私たちの命、生活に大きく影響を及ぼします。自分たちのできる

「小さなことから、やってみる」ことが大事だと思います。

これからも、長野県・千曲市・地元地区等と連携、協力し環境負荷の軽減、環境に配慮した活動に努

めます。

・環境管理者責任者、担当者への提言

- ・引き続き啓発活動に力を入れ、社員ひとりひとりの「気づき」による行動に期待します。
- ・置場の整理整頓、資材の有効活用し環境に配慮してください。
- ・環境負荷の少ない機械の使用をしてください。

2024年3月31日

代表取締役 武田敏光